



みんきょう便り 第33号

みんきょう・・・三島町民生児童委員協議会の略です

歳末たすけあい運動へのご協力 ありがとうございました

令和3年12月1日から1ヵ月は、歳末たすけあい募金運動の期間です。
「こんにちは。民生委員です。今年も歳末たすけあい募金にご協力お願いします。」と声を掛け各家庭を訪問して、募金活動を実施しました。
前もって準備をして待っていて下さる人も中にはいらっしゃいました。

歳の瀬に向かっては、経済的にも負担も多いのが実情だと思いますが、毎年目標額を上回る募金を賜りありがとうございます。



報告者：五十嵐 スミ子
【松原地区担当】

【募金活動・配分方法について】

三島町では、歳末たすけあい募金運動を民生児童委員協議会が中心となって行っています。地区によっては行政区長さんのご協力をいただき、地区住民の皆さんのご理解のもと、地区運営費・区費と併せて募金をしていただいているところもあります。

皆様のご厚意・ご協力により集められた募金は、三島町民生児童委員協議会において、配分検討が行われ、特別養護老人ホーム桐寿苑への行事助成事業や【地域ふれあい配分事業】へと配分されます。

【地域ふれあい配分事業とは】

この事業は、高齢者や支援を必要とする方々が特に不安を持ちやすい冬の時期に実施する事業です。高齢者や障がい者、子どもたちなど世代を超えた交流会や生活支援活動（除雪支援・友愛訪問・配食など）住民の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らせるような、地域のふれあい・支え合い活動に対して、その活動費の一部を歳末たすけあい募金から助成しています。

今年度も、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、各地区やボランティア団体などにおいて様々な事業が実施されました。

コロナ禍で集いや催しの中止が相次いでいる中での数少ない交流の機会であり、尚且つ高齢などにより積極的に外出することが出来ない方にとっても、楽しみとなっていることが各活動の報告からも分かります。（P①～③をご覧ください。）

【友愛訪問】

三島町民生児童委員協議会
代表：小松 豊さん

【参加人数】165名

【実施内容】

手持ち品を持参し85歳以上の高齢者宅を訪問する。

【感想と課題】

コロナであまり外出できない中での訪問だったのでとても喜ばれました。毎年黒砂糖を楽しみに待っている人がいて嬉しく、早くコロナが収束して、もっとゆっくり訪問できるようになることを願います。



ゆい♡はーと⑥

こんにちは～！

民生児童委員会活動日誌



今年も、大雪と新型コロナウイルス感染症で大変な毎日と
思います。2月13日(日)はお天気も良く、80歳以上の一人
暮らしと二人暮らしの方に、「正しく対策、新型コロナウイルス
感染症」のチラシと、黒砂糖を持参して一斉訪問に行っ
てまいりました。

皆さま、ご自宅にいらっしゃって、玄関先ではありますが色
々と話をし、コロナ禍に負けないように元気で早く皆が一緒
になって活動できますように等、話をしながら訪問しました。

そして、この積雪が早くとけて各家庭の庭にチューリップを
はじめ、色々なきれいな花が咲くのを想像しながら、一斉訪問
活動を終わりました。

これからも少しずつではありますが、皆さまの
お役に立てますように勤めてまいりたいと思います。
今後とも宜しくお願い致します。



報告者：秦 フジ子(右)
【大石田地区担当】

地域づくりは「思いやり」から



三島町

民生児童委員協議会
会長 小松 豊

「思いやり」を辞書で引くと、その人の身になって考えること。
思い巡らすこと。などとあります。相手のことを考え思うこと。を
総じて「思いやり」という言葉で表しているようです。他人に対し
て不快な感情を抱かせないような配慮も「思いやり」と言えるでし
ょう。相手のために甘やかさない。あえて厳しく接することも「思
いやり」の範中と考えられます。他者を思いやり行動することの基
本は、他者を尊重することだと思います。

「手助け・支援」においては、相手の状況や性格などに合わせて
適切な対応をとることが重要であります。間に入って干渉するよう
な意味合いを持つ「介入」になってはならないと思います。

日々の暮らしの中で互いに相手を尊重し思いやり、必要な時には
さりげなく手を差し伸べあい、人の温かさを感じられる地域づくり
ができればと思います。



◆ 編集後記 ◆

目に見えない未知のウイルスに怯え、何年
息をひそめているのでしょうか。また、今年も
予測のつかない降雪にビクビクしながら、日
々の暮らしは繰り返されていきますね。



社会生活も停滞気味で、不穏なニュースばかりが報道されて
います。「ウイルスは止める！社会は止めない！」ある知事の
力強い言葉ですが、無くなることのない厄災と上手く付き合っ
ていく方法を見出して、今まで以上の自助・共助・公助を確認
しながら、安心安全で穏やかな街を目指していきましょう。

広報委員：佐久間 絹江 【滝原・早戸地区担当】

発行：三島町民生児童委員協議会
〈広報委員〉佐久間 絹 江
二 瓶 とよ子
湯 田 恭 子
事務局／三島町社会福祉協議会